

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部



令和五年十一月度 入賞句一覽 投句数 五百六十八句

特選

田中 青志 選

威銃山が大きく撃ち返す

大垣市

村田 通夫

山中を歩いていっていると、突然ばーんと銃声が聞こえる時があり一瞬驚く。山畑には荒らす獣たちを追い払うための道具である。人間が驚くほどだから、鳥や獣たちには脅威であろう。その音を山が撃ち返すといういわば餌、山が鳴り響くのである。獣たちが慌てふためくの想像すると痛快である。

木の実落つ音が聞える森の中

大垣市

栗山 佳子

この現象は必ずあるはずではあるが、なかなか遭遇するのは難しい。だが、そんな森の中は想像するだけで楽しいではないか。枯葉がはらはらと散る音も合わせて、こんな世界に佇みたい願望の湧く場面。お伽の国のリスやどんぐりたちが“こんにちは”と話しかけてくるような夢の世界である。

広報に挟みて届く赤い羽根

揖斐郡大野町

横山 道男

“あ”十月だと教えてくれる助け合い共同募金をした証の赤い羽根。ご町内への秋のお知らせでもある赤い羽根。胸にさしても、かばんにさりげなくつけてもよく似合う赤い羽根。テレビ画面にも赤い羽根を颯爽とつけた岸田総理、私も颯爽と襟につけて町に出てゆこう。

秀逸

朝風や仄かに香る金木犀

大垣市

櫻井 秋櫻

高い空に飛行機の音秋の雲

大垣市

宇津 香代子

穏やかに生きる力や稲実る

大垣市

北村 陽子

心内あかしてくれそう林檎剝く

大垣市

大杉 すみゑ

好きな席は窓際後ろ秋の雲

大垣市

柏瀬 澄子

夜半の里百の棚田に百の月

大垣市

平野 順一

町内にこんなにも子が運動会

埼玉県川口市

吉永 寿美子

金木犀隣家と香り分けあひし

大垣市

三輪 葉加

鳥渡る組体操の塔の上

東京都世田谷区

関戸 信治

子の曰くケーキ食べる日クリスマス

埼玉県越谷市

小田 菖藻

入選

秋深し水琴窟の音しずか

大垣市

平野 きぬよ

絡み合ふままを佳しとす蔓もどき

岐阜市

関谷 恭子

水音や連なつてゆく紅葉狩

東京都北区

菱沼 多美子

走り蕎麦隣に左利きのゐて

東京都新宿区

花澤 ちいこ

便利屋に託する遺品十三夜

埼玉県川口市

吉永 寿美子

親方と呼ばれ母校の松手入

養老郡養老町

田中 紫香

測量士とこころ構はず草風

大垣市

小林 研

稚児の列豊作祝う触れ太鼓

京都府宇治市

古根 洋子

ふるさとに続くや同じ秋の空

本巢郡北方町

三輪 幸恵

釣れる日も釣れぬ日もあり秋日和

神奈川県川崎市

立野 音思

子は子だと割り切れぬ日の落葉踏む

愛知県西尾市

金子 恵美

源流は神在す祠水澄めり

大垣市

森 茂寿

秋風や心の声に耳すます

神奈川県相模原市中村

光枝

夕焼けは子らにはじめて赤とんぼ

長野県下伊那郡

長沼 まさし

歩きゆく先々にほふ金木犀

東京都府中市

布村 柚子

齒切れ良き笛の号令運動会

兵庫県豊岡市

辻井 一路

通せんぼ見たとばかりに萩咲けり

本巢市

土川 みどり

初恋の恋敵との海羸廻し

三重県四日市市

藤田 勝民

秋の声パンの包みにパリの地図

東京都武蔵野市

木嶋 純子

芒原風の分け行く風の道

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

一般の部

選者吟

いちまいの枯葉夕日をつえをり

青 志

